

2019年度（2020年3月卒業生） 新卒視能訓練士就業調査状況 調査結果

調査目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握する。

対 象：2019年4月現在日本国内に存在し2020年3月に卒業生を輩出した視能訓練士養成施設29校（大学9校・短期大学1校・専門学校19校）に対しアンケート調査を依頼。対象者数は国家試験合格者の801名。

施設区分	養成校区分 就職先区分	性別	大学 8校			短期大学 1校			専門学校 17校			合計 26校				前年29校との比較		区分比率	前年度比
			女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	人数	比率%	増減数	比率%		
国立系医療機関	1. 国立高度専門医療センター（ナショナルセンター）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	12.9%	2.6%	
	2. 国立大学法人		19	3	22	3	0	3	11	2	13	33	5	38	5.2%	9			1.0%
	3. 独立行政法人国立病院機構		2	2	4	0	0	0	1	0	1	3	2	5	0.7%	3			0.4%
	4. 公立医療機関（都道府県市町村の病院及び診療所）		9	3	12	1	1	2	14	2	16	24	6	30	4.1%	13			1.7%
	5. その他国立系の病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0			0.0%
	6. 公立大学病院		1	1	2	0	0	0	6	0	6	7	1	8	1.1%	1			0.1%
	7. 公立に準ずる病院及び診療所		8	0	8	2	0	2	3	0	3	13	0	13	1.8%	▲4			▲0.6%
	①小計		39	9	48	6	1	7	35	4	39	80	14	94		22			
全体に占める割合		6.1%			0.9%			5.0%			10.2%	1.8%		12.9%		2.6%			
私立系医療機関	8. 私立大学病院		29	7	36	1	0	1	13	1	14	43	8	51	7.0%	2	0.0%	84.0%	▲1.2%
	9. 私立病院（他科もある病院の眼科）		26	6	32	6	0	6	27	8	35	59	14	73	10.0%	1	▲0.3%		
	10. 私立眼科病院		28	1	29	0	0	0	15	2	17	43	3	46	6.3%	▲16	▲2.6%		
	11. 眼科診療所（医療法人及び個人）		125	15	140	14	2	16	228	49	277	367	66	433	59.2%	22	▲0.3%		
	12. レーシックセンター（レーシックを主にしている眼科診療所）		0	0	0	1	0	1	10	0	10	11	0	11	1.5%	10	1.4%		
	②小計		208	29	237	22	2	24	293	60	353	523	91	614		19			
全体に占める割合		32.4%			3.3%			48.3%			71.5%	12.4%		84.0%		▲1.2%			
その他の	13. 視能訓練士の学校または養成所		2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0.3%	2	0.3%	3.1%	▲1.3%
	14. 大学院		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%	▲5	▲0.8%		
	15. 福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0.1%	▲1	▲0.2%		
	16. 病院・医院以外の医療関係企業		1	4	5	0	0	0	0	1	1	1	5	6	0.8%	2	0.2%		
	17. 医療関係以外の職業		2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0.4%	▲3	▲0.5%		
	18. 就職せず		4	2	6	0	0	0	4	0	4	8	2	10	1.4%	▲3	▲0.5%		
	19. 他大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%		
	20. 他専門学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%		
	③小計		9	8	17	0	0	0	4	2	6	13	10	23		▲8			
	全体に占める割合		2.3%			0.0%			0.8%			1.8%	1.4%		3.1%		▲1.3%		
合計（①+②+③）		256	46	302	28	3	31	332	66	398	616	115	731	100.0%	33				

小数点第2位四捨五入
2020年10月現在
視能訓練士需給計画委員会実施

アンケート調査に対して回答があった養成校数は、大学は前年より1校減の8校、短期大学は前年と同じ1校、専門学校は前年より2校減の17校、合計では3校減の26校（アンケート回収率89.7%）から回答を得ました。

回答が得られた養成校の全学生数は、女性は前年より24名増の616名（84.3%）、男性は9名増の115名（15.7%）の計731名でした。前年に比べ学校数は3校減少したにもかかわらず人数では33名増加となりました。

大学は1校からの回答がなく20名減でした。専門学校は1校減でしたが、人数は47名増でした。前年の結果では専門学校の学生数が大幅に減少していましたが、今回は増加になっていることもあり、年度によって学生数の増減があることが示唆されました。

今回の調査結果について

1. 施設区分

施設区分では、「国公立系医療機関」の全体に占める割合は前年から増加に転じており、今回の調査結果でも前年比2.6ポイント増の12.9%となりました。反対に「私立系医療機関」の全体に占める割合は前年から減少に転じており、今回の結果でも前年比1.2ポイント減の84.0%、「その他」の全体に占める割合も前年比1.3ポイント減の3.1%となりました。今回の結果は前年の結果を引き継ぐ形となり、「国公立系医療機関」が上昇し、その代わりに「私立系医療機関」、「その他」が減少となりました。

2. 就職先区分

施設区分では、「国公立系医療機関」の「国立大学法人」と「公立医療機関」、「私立系医療機関」の「レーシックセンター」が1ポイント以上の増加となりました。その他の多くは軒並み減少となっており、「私立眼科病院」が2.6%減と大幅に減少した結果となっていました。昨年度大幅に増加した「大学院」への進学は今回の結果は1名だけでした。近年危惧していた「就職せず」は前年と同様に減少しており、視能訓練士として活躍する人が多い結果となりました。

3. まとめ

今回の調査結果は前年の調査結果と同様の傾向が認められ、国公立系医療機関が増加、私立系医療機関とその他は減少となりました。また、医療機関で働く人の割合が増えていることも同じ傾向にありました。

良い視能訓練士を輩出するためにはこの素晴らしい資格を社会全体によく知っていただくことが重要です。入学者数の減少は需給への悪化につながりますので、会員の皆様には視能訓練士の知名度向上のためにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

今年卒業し、有資格者となられた皆さん国家試験合格おめでとうございます。需給計画委員会では今後も調査を続け、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきます。今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

視能訓練士需給計画委員会